

東北医科薬科大学分子生体膜研究所  
「箱守仙一郎賞」(Sen-itiroh Hakomori Glycoscience Award) 規約

令和2年4月20日  
東北医科薬科大学分子生体膜研究所  
顧 建国

名称	箱守仙一郎賞
授与機関	東北医科薬科大学分子生体膜研究所
目的	生物系化学系を問わず広く糖鎖科学を専攻し、日夜努力を続けている東北エリアの研究者を顕彰することにより、日本の糖鎖科学研究の増進を図る。
賞の種別	奨励賞 1~2名 顕彰楯および副賞 優秀論文賞 1~2名 顕彰楯および副賞
対象	(1) 奨励賞：東北エリア（新潟県および群馬県を含む）で研究に従事する応募時45歳までの研究者 (2) 優秀論文賞：同地域で研究に従事し、申請時点で大学院生もしくは博士研究員である者 * いずれも指定された期間内に発表（acceptedでも可）された学術論文に対して審査・授与する。 <b>箱守賞の応募対象論文は、該当年度に発表または受理された原著論文です。</b>
選考方法	自薦および他薦によるものとし、東北糖鎖研究会世話人が審査する。評価を点数化（次項参照）して決する。
授賞方法	東北糖鎖研究会開催時に授賞および受賞講演を行う。
運用方法	顕彰楯および副賞の購入費は、箱守賞基金を原資とし、分子生体膜研究所がこれを支弁する。
その他	事務局は分子生体膜研究所内に置く。

## 審査

### (1) 応募資格および応募方法

東北 6 県、新潟県および群馬県（東北糖鎖研究会エリア）で研究を行っている 45 歳以下の糖鎖科学研究者（大学院生、博士研究員は自動的に優秀論文賞へのノミネートとなる）。対象論文は、その年度内に Impact factor が付与されている英文学術雑誌（査読有）に出版、または掲載が決定されている原著論文（accepted でも可）とし、応募者が筆頭著者となっているものとする。要旨和訳と論文 PDF を添えて既定のエントリーフォームに記入してメールにて応募する。化学系・生物系は問わない。自薦および他薦どちらでも受け付ける。応募期間等についてはその都度決定し、周知する。

書類送付先：東北医科薬科大学 分子生体膜研究所 所長 顧 建国

メールアドレス：jgu@tohoku-mpu.ac.jp； 応募締め切り：5 月 31 日

### (2) エントリーフォーム（別添）

### (3) 審査委員および審査方法

- 1) 分子生体膜研究所所長が審査員長を務める。
- 2) 東北糖鎖研究会世話人が審査員となる。ただし、世話人が推薦者または自薦者の所属責任者あるいは論文の共著者である場合は審査に参加しない。
- 3) 期限内に提出された論文について事務局が一次審査（下記基礎点と推薦者の評価点の合計による）を行い、奨励賞および優秀論文賞それぞれ上位 3 報を選定する。
- 4) 上位 3 報について審査員が下記評価項目を採点し、全員（その都度人数は異なる）の評価平均点+基礎点+推薦者の評価点から最上位者を受賞者として決定する。
- 5) 最高点が複数出た場合は審査員長の判断に委ねる。

## 基礎点

Impact factor (IF): IF× 5 点

## 推薦者（自薦または他薦）の評価点（推薦書に記入、最高点 10 点）

共同研究者の貢献を考慮し、以下の項目を参考して該当研究に対する応募者の貢献度を客観的にみて公正に評価する。

- 1) 研究の考案（最高点 2 点）
- 2) 実験の実行（最高点 5 点）
- 3) 論文作成（最高点 3 点）

## 評価最高点

独創性	10 点
インパクト（重要性）	10 点
論文構成	10 点
将来性	10 点